

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用, 変更) 届出書

年 月 日

(あて先) 富 士 市 長 小長井 義正 様

〒  
フリガナ  
住 所  
届出者  
フリガナ  
氏 名

〔氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名〕

{ 水質汚濁防止法第5条第1項, 第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項, 第7条)  
静岡県生活環境の保全等に関する条例第35条 (第36条第1項又は第2項, 第37条, 第38条) }

の規定により, 特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について, 次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係 県生活環境保全条例第35条関係	特定施設の種類の	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備 考
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙5のとおり。	
第5条第2項関係 県生活環境保全条例第36条1項関係	有害物質使用特定施設の種類の		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙6のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙7のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙8のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙10のとおり。	

様式第1 (裏面)

県生活環境保全条例第36条2項関係 第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙11のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙13のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙14のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、水質汚濁防止法施行令別表第1及び静岡県生活環境保全等に関する条例施行規則別表第6に掲げる号番号及び名称を記載すること。
  - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
  - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
  - 4 △印の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
  - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 6 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 7 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号番号称及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

## 特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号番号称及び名称		
設備		
構造		
主要寸法		
配置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

## 特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

## 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号										
処理施設の設置場所										
設置年月日		年	月	日	年	月	日	年	月	日
工事着手予定年月日		年	月	日	年	月	日	年	月	日
工事完成予定年月日		年	月	日	年	月	日	年	月	日
使用開始予定年月日		年	月	日	年	月	日	年	月	日
種類及び型式										
構造										
主要寸法										
能力										
処理の方式										
処理の系統										
集水及び導水の方法										
使用時間間隔										
1日当たりの使用時間										
使用の季節変動										
消耗資材の1日当たりの用途別使用量										
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大		
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	
	量 (m <sup>3</sup> /日)									
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法										
排出水の排出方法										
その他参考となるべき事項										

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排水先を含め記載すること。

## 排水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	排水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大
	その他参考となるべき事項	排水の排出先 ( ) を経て 川 ( ) へ 海		排水の排出先 ( ) を経て 川 ( ) へ 海	

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。



## 参考事項

※業種 (分類項目名)		※細分類番号				
主 要 製 品		担当部課係名				
		フリガナ				
		担当者職氏名				
		フリガナ				
工場又は事業場の 従業員数	人	工場又は事業場の 電話番号				
資本金	百万円	本社電話番号				
水質汚濁防止法による 初回届出	年 月 日					
環境マネジメントシステム導入の有無 (自社構築を含む)	無・有	(審査登録 機関名： 自社構築 年 月 日 登録・構築)				
今回の届出の概要						
規模要件のあり	特定施設番号	要件	規模	特定施設番号	要件	規模
	1の2(イ)	豚房の総面積	m <sup>2</sup>	66の6	業務の用に供する部分の総面積	m <sup>2</sup>
	1の2(ロ)	牛房の総面積	m <sup>2</sup>	66の7	同上	m <sup>2</sup>
	1の2(ハ)	馬房の総面積	m <sup>2</sup>	68の2	病床数	床
	64の2	浄水能力	m <sup>3</sup> /日	69の3	水産物に係る売場面積	m <sup>2</sup>
	66の3	業務の用に供する部分の総床面積	m <sup>2</sup>	70の2	屋内作業場の総床面積	m <sup>2</sup>
	66の4	同上	m <sup>2</sup>	71の3	焼却能力火格子面積	kg/時 m <sup>2</sup>
66の5	同上	m <sup>2</sup>	72	人槽	人槽	
市町村役場 記入欄	所属水域				下水道処理区分の有無	有・無

※ 業種欄は、日本標準産業分類（平成5年10月改訂版）による細分類番号、分類項目名を記入すること。

## 有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設号(項)番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項	同一施設の数：	同一施設の数：

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

## 有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設号(項)番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

### 汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量 (m <sup>3</sup> /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。  
 2 参考の欄には残さ処理委託先業者名を記載すること。

### 特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置									
浸透施設の数									
浸透 水	工場又は事業場における施設番号								
	量 (m <sup>3</sup> /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項									



## 参考事項

※業種 (分類項目名)			※細分類番号				
主 要 製 品			担当部課係名				
			フリガナ				
			担当者職氏名				
			フリガナ				
工場又は事業場の 従業員数	人		工場又は事業場の 電話番号				
資本金	百万円		本社電話番号				
水質汚濁防止法による 初回届出	年	月		日			
環境マネジメントシステム導入の有無 (自社構築を含む)	無・有	(審査登録 機関名： 自社構築             )		年	月	日	登録・構築
今回の届出の概要							
規模要件のあり	特定施設番号	要件	規模	特定施設番号	要件	規模	
	1の2(イ)	豚房の総面積	m <sup>2</sup>	66の6	業務の用に供する部分の総面積	m <sup>2</sup>	
	1の2(ロ)	牛房の総面積	m <sup>2</sup>	66の7	同上	m <sup>2</sup>	
	1の2(ハ)	馬房の総面積	m <sup>2</sup>	68の2	病床数	床	
	64の2	浄水能力	m <sup>3</sup> /日	69の3	水産物に係る売場面積	m <sup>2</sup>	
	66の3	業務の用に供する部分の総床面積	m <sup>2</sup>	70の2	屋内作業場の総床面積	m <sup>2</sup>	
	66の4	同上	m <sup>2</sup>	71の3	焼却能力火格子面積	kg/時 m <sup>2</sup>	
66の5	同上	m <sup>2</sup>	72	人槽	人槽		
市町村役場 記入欄	所属水域			下水道処理 区分の有無	有・無		

※ 業種欄は、日本標準産業分類（平成5年10月改訂版）による細分類番号、分類項目名を記入すること。

## 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
床 面 及 び 周 囲		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する

主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

## 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

## 有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設置場所		
操業の系統		
使用時間間隔		
1日当たりの使用時間		
使用の季節的変動		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量(有害物質使用特定施設の場合に限る。)		
貯蔵する有害物質の種類(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)		
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

## 用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>			
用途別水使用量	用 途	使 用 水	用水使用量(m <sup>3</sup> /日)

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別水使用量の欄には記載しないこと。

## 参考事項

※業種 (分類項目名)		※細分類番号				
主 要 製 品		担当部課係名				
		フリガナ				
		担当者職氏名				
		フリガナ				
工場又は事業場の 従業員数	人	工場又は事業場の 電話番号				
資本金	百万円	本社電話番号				
水質汚濁防止法による 初回届出	年 月 日					
環境マネジメントシステム導入の有無 (自社構築を含む)	無・有	(審査登録 機関名： 自社構築 年 月 日 登録・構築)				
今回の届出の概要						
規模要件のあるもの	特定施設番号	要件	規模	特定施設番号	要件	規模
	1の2(イ)	豚房の総面積	m <sup>2</sup>	66の6	業務の用に供する部分の総面積	m <sup>2</sup>
	1の2(ロ)	牛房の総面積	m <sup>2</sup>	66の7	同上	m <sup>2</sup>
	1の2(ハ)	馬房の総面積	m <sup>2</sup>	68の2	病床数	床
	64の2	浄水能力	m <sup>3</sup> /日	69の3	水産物に係る売場面積	m <sup>2</sup>
	66の3	業務の用に供する部分の総床面積	m <sup>2</sup>	70の2	屋内作業場の総床面積	m <sup>2</sup>
	66の4	同上	m <sup>2</sup>	71の3	焼却能力火格子面積	kg/時 m <sup>2</sup>
66の5	同上	m <sup>2</sup>	72	人槽	人槽	
市町村役場 記入欄	所属水域				下水道処理区分の有無	有・無

※ 業種欄は、日本標準産業分類（平成5年10月改訂版）による細分類番号、分類項目名を記入すること。